

講師



池田 登顕

山形大学医学部医療政策学講座・東北大学歯学部国際歯科保健学分野

司会：井手 一茂（千葉大学）

要旨

ランダム化比較試験(以下、RCT という)の知見でなくてもガイドラインに取り上げられる事例が増えているのをご存じだろうか。近年、RCT が存在しない領域や、RCT の結果だけでは日常診療下の実践的な疑問に十分に答えられない場面において、ガイドラインは観察研究由来のエビデンスも積極的に活用する方向へと転換しつつある。本講演では、この変化を支える「因果推論」の基本的枠組みを概説するとともに、近年注目を集める Target Trial Emulation が神経理学療法学の領域でどのように応用されているのか、その実例を交えて解説する予定である。

略歴

学歴

2007年 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部リハビリテーション学科卒業。

2017年 首都大学東京大学院人間健康科学研究科博士前期課程修了。

2020年 東北大学大学院歯学研究科博士後期課程修了。

職歴

2007年 佐々総合病院医療技術部リハビリテーション科

2009年 菊地脳神経外科・整形外科

2014年 荒川区障害者福祉課

2017年 仙台青葉学院短期大学リハビリテーション科

2019年 山形大学医学部医療政策学講座（現在に至る）

業績

1. Ikeda T, et al. Journal of Clinical Epidemiology. 2024;111550. doi: 10.1016/j.jclinepi.2024.111550
2. Ikeda T, et al. American Journal of Epidemiology. 2023;192:195–204. doi: 10.1093/aje/kwac168
3. Ikeda T, et al. Social Science & Medicine. 2020;264:113385. doi: 10.1016/j.socscimed.2020.113385
4. Ikeda T, et al. The Journal of Pain. 2022;23:390–7. doi: 10.1016/j.jpain.2021.08.008
5. Ikeda T, et al. Journal of General Internal Medicine. 2022;37:2727–35. doi: 10.1007/s11606-022-07394-8